

ゆうがおグリーンネット通信

しもつけ環境市民会議事務局
☎(32)88998(環境課)

「しもつけ環境フォーラム」を開催

人と自然が共生した持続可能な環境都市「しもつけ」を目指して

去る2月19日、しもつけ環境市民会議と市の協働事業「しもつけ環境フォーラム」を開催しました。

当日は、前の晩から朝方にかけて降った雪がところどころ残る中、70名を超える市民の方々に来場いただき、熱気のもつたフォーラムとなりました。

市民団体と行政との協働プロジェクトとして、毎年開催している環境保全創造啓発イベントも、3回目となりました。

今年、「課題解決型協働と環境パートナーシップ組



岩井俊宗 氏

織の役割」と題し、特定非営利活動法人「とちぎユースサポーターズネットワーク」代表理事の岩井俊宗氏にご講演をいただきました。

講演では、「協働」における相手との違いを強みに変えるためには、お互いの存在理由を理解すること、問題意識を共有すること、協働後の双方のHAPPYなイメージを描くこと等が必要であると、「協働によるまちづくり」を進めていく上で、とても示唆に富んだお話をいただきました。

平成29年度は下野市環境基本計画の中間見直しの年で、市内の協働による環境保全・創造活動の今を検証するため、また、一般の市民の皆様へ活動を知っていたくことにより、環境活動の担い手の確保ということも目的に、宇都宮大学地域デザイン科学部教授、中村祐司氏をコーディネーターに事例発表会を行いました。事例発表会の表題と発表



左から、中村教授、杉浦氏、小堀氏、伊東氏

者は、次のとおりです。

- ①「希少種の保護活動」
下野市自然に親しむ会
事務局長 杉浦 健夫氏
- ②「環境学習によるまちづくり」
南河内東公民館社会教育
指導員 小堀 晴美 氏
- ③「地域に根ざした環境保全活動」
市役所農政課
主事 伊東 桂吾 氏

参加された市民の方からは、「協働の進め方についてとても参考になった」「協働事業にも様々な形があることが、事例発表を聞いてわかった」等、ご意見をいただき、このイベントが、協働を身近な問題の解決手段として捉え直すきっかけになりました。

環境審議会公募委員を募集

環境保全に関する重要施策を実施するため、調査・審議する機関として、「下野市環境審議会」を設置しています。

市民の皆様のご意見を反映させるため、次の通り公募委員を募集します。

■内容 計画に関して、調査・審議していただきます。

■任期 2年

■会議開催回数 年4回程度

■募集人数 2名

■募集期間 4月3日(月)～21日(金)

■応募資格 ①市に住所を有し、原則として、20歳以上の方

②原則として、市で設置する他の審議会等の委員でない

③平日昼間開催される会議に出席できる方

■応募方法 応募用紙に記入し、環境課まで郵送・FAXまたは直接お持ちください。

■報酬 日額6,000円

申し込み・問い合わせ先
環境課

☎(32)88998

FAX(32)8609

不用品リサイクル情報

市では、リサイクル社会の構築とゴミの減量化のため、不用品リサイクルの情報を提供しています。

あなたの「譲りたい」「譲ってほしい」情報をお受けしていますので、希望される方は環境課までご連絡ください。

「譲りたい」

- ・幼児用ベビーバウンサー
- ・歩行器・ポンチヨ(女性用フリーサイズ)・座布団(夏用、冬用5枚)・ベビーバス・幼児用布団セット・ひな人形

「譲ってほしい」

- ・電気ストーブ・大人用自転車(24～26インチ、折り畳み)
- ・子供用自転車(女児用18～20、22、24インチ、男児用22インチ)・チャイルドシート・ピアノ・子供用スキー用品・扉付きベビーゲート・第二薬師寺幼稚園制服&体操着(男児用、女児用)